



上越妙高駅前国指定 史跡を観光に活かそう

平原 留美（つなぐ）



Q 「弥生のムラ」コミュニティパーク事業の観光の取組の一つとして、ハイキングコースの設定やPRは行われているのか。

A 釜蓋遺跡ガイダンスを起点とし、吹上遺跡や斐太遺跡を巡る周遊マップを作成し、ガイダンスに設置するなど、遺跡群の周知と誘客促進を図ってきた。より多くの来訪者への周知を図るため、周遊マップを駅周辺の店舗などにも配置することでPRに努める。

釜蓋遺跡ガイダンス駐車場の活用は？

Q 釜蓋遺跡ガイダンス駐車場における歳入確保のために取組は何か。

A 令和元年9月から、駐車場の一部について周辺の飲食店利用者への駐車スペースとして貸付けを開始し、その後も、上越妙高駅及び駅周辺の施設等を利用する大型バスの日中の一時待機場及び、駐車スペースとして貸付けを行うなど、有効利用を図ってきた。引き続き、駅周辺の駐車場の状況を踏まえ、適切に対応していく。

吹上・釜蓋遺跡応援団の盛り上げを！

Q 吹上・釜蓋遺跡応援団の活動をどのように支援していくのか。

A 応援団の主体性を尊重しつつ、応援団の活動がより活性化するように下支えしたい。



続発する不適切事案の 初動対応と再発防止は

橋本 洋一（久比岐野）



Q 工事入札における落札業者の誤り、消防団員報酬の源泉徴収票への課税対象額の誤記載、議会資料の訂正、学校給食への蛍光管の破片混入、児童への漂白剤混入水の提供など、緊張感の欠如と思われる不適切事案が続発しているが、初動対応、再発防止策及び職員の意識改革はどうか。

A 初動対応については、事務の誤りや事故が発生した場合には、事態の収束及び関係者への対応を行うとともに、所属長等を通じて速やかに市長まで報告することとしている。また、事実の確認等に時間がかかる場合であっても、その時点で把握できた状況を第1報として報告することを原則としており、今回の事案についてもこの方針に沿って対応している。再発防止策や職員の意識改革については、根拠となる法令等の確認はもとより、担当者に任せきりにすることなく、組織として対応するという原点に立ち返って適正な事務執行を徹底していく。なお、児童に対する重大な健康被害が疑われる事故については、全ての教職員が自分事として受け止め、事故の原因や問題点、その対策を改めて検討し、1人ひとりが危機管理意識を高めるとともに、再発防止に向けた組織風土を構築するための取組を進めていく。



原発再稼働の是非は 市民の声に傾聴を

上野 公悦（日本共産党議員団）



Q 柏崎刈羽原発の再稼働の是非を問う県民投票条例案が県議会で否決され、結果として県民が再稼働の是非について意思を示す機会が失われたが、これについて市長はどう考えるか。

A 開かれた県議会における慎重な審議の結果であり、私から申し上げることはない。

Q 柏崎市を皮切りに、県内5か所で公聴会が開かれる。市長の再稼働に対する考えも問われるが、市民の声をどのように聞くか。また、時期はいつ頃になるか。

A 何らかの形で市民の考えを把握する必要があるが、手法や内容、時期も検討中でまだ示せない。手順を踏んで整理する。

学校で連続する誤食等の事故への対応は

Q 文教経済常任委員会に16年以上所属しているが、これほど短い期間で子どもの安全、もしかしたら命にもかかわるあつてはならない事案が連続的に発生したことはない。単なるマニュアルだけの問題にとどまらない。安全に対する意識の醸成や、徹底した指導を求めるがどうか。

A すべての子どもたちにとって、学校は安心安全な場所でないといけない。このような事故を二度と繰り返すことがないよう、全ての教職員で再発防止に取り組み、児童や保護者、市民の皆様の信頼回復に努める。